

2 1 監査報告第 1 2 号
平成 2 2 年 3 月 3 1 日

千 葉 市 長 熊 谷 俊 人 様

千葉市監査委員	古 川 光 一
同	大 島 有紀子
同	米 持 克 彦
同	三 瓶 輝 枝

地方自治法第 1 9 9 条第 1 項、第 4 項、第 5 項及び第 7 項の規定により監査を実施したので、同条第 9 項の規定により監査の結果に関する報告を提出します。

財政援助団体等監査結果報告

1 監査の対象

(1) 財政援助団体

ア 千葉市再資源化事業協同組合

対象補助金：資源回収事業育成補助金（所管部局：環境局環境管理部）

古紙・布類分別収集補助金（所管部局：環境局環境事業部）

イ 千葉商工会議所

対象補助金：小規模事業者指導事業補助金（所管部局：経済農政局経済部）

中心市街地活性化事業補助金（所管部局：経済農政局経済部）

ウ 財団法人千葉市防災普及公社

対象補助金：財団法人千葉市防災普及公社運営補助金

（所管部局：消防局総務部）

(2) 出資団体

ア 財団法人千葉市都市整備公社（所管部局：財政局財政部）

イ 財団法人千葉市防災普及公社（所管部局：消防局総務部）

(3) 公の施設の指定管理者

ア 株式会社千葉ロッテマリーンズ

公の施設：千葉マリンスタジアム（所管部局：都市局公園緑地部）

イ 株式会社京葉美装

公の施設：千葉市稲毛区穴川コミュニティセンター

（所管部局：稲毛区役所）

ウ 長沼ＣＣ支援グループ

公の施設：千葉市稲毛区长沼コミュニティセンター

（所管部局：稲毛区役所）

2 監査の範囲

(1) 財政援助団体

平成２０年度に市が行った財政的援助に係る団体の出納その他の事務

(2) 出資団体

平成２０年度に執行した事業運営に係る出納その他の事務

(3) 公の施設の指定管理者

平成２０年度に執行した公の施設の管理に係る出納その他の事務

ただし、必要がある場合は、上記以外の期間も範囲とした。

3 監査の期間

平成21年10月1日から平成22年3月26日まで

4 監査の方法

今回の監査は、財政援助団体については、財政的援助が交付目的に沿って適正に活用されているか、出資団体については、事業運営が出資目的に沿って適正に行われているか、公の施設の指定管理者については、協定等に基づく義務の履行は適切に行われているかなどを主眼に実施した。

監査に当たっては、関係書類を抽出により調査するとともに、関係者から説明を聴取し、必要に応じて現地調査を行った。

5 監査の結果

対象団体の事務及び当該団体に関する所管部局の事務は、おおむね適正に執行されていたが、次のとおり改善の必要があるものが認められた。所管部局においては、対象団体に対する指導を行うとともに、対象団体においても適切な措置を講じられたい。

(1) 公の施設の指定管理者

ア 株式会社京葉美装

(ア) 収支決算書を適正に作成すべきもの

基本協定書第22条第2項によると、指定管理者は、毎事業年度終了後30日以内に、事業報告書に管理業務に係る収支決算書を添付して市に提出するものとされている。また、総務省自治行政局長通知によると、事業報告書は、料金収入の実績や管理経費等の収支状況等、指定管理者による管理の実態を把握するために必要な事項を記載することとされている。

しかしながら、収支決算書及び領収書等出納関係書類を確認したところ、指定管理者は、管理経費について正確な収支状況を報告する必要があるが、収支決算書に指定管理業務とは関係のない費用が記載されているなど不適正な収支決算書となっていた。

指定管理者においては、収支決算書を適正に作成されたい。

参考：監査対象団体の概要

1 財政援助団体

(1) 千葉県再資源化事業協同組合

- ア 設立年月日 平成2年9月1日
- イ 設立目的 千葉県内で発生する資源物の収集及び資源化を行い、もって地域社会に貢献することを目的とする。
- ウ 所在地 千葉市中央区富士見2丁目22番6号
- エ 代表者 代表理事 飯田 俊夫
- オ 事業内容
- (ア) 集団回収事業
自治会・子供会等の資源回収団体から古紙・布類を回収し、資源化を行う。
- (イ) 古紙・布類分別収集事業
ごみステーションに排出される古紙・布類を収集し、資源化を行う。
- (ウ) 千葉市教育委員会資源物回収事業
千葉市内の小中学校等から排出される古紙・布類を回収し、資源化を行う。
- (エ) 学校給食センター資源物回収事業
学校給食センターから排出される資源物を回収し、資源化を行う。
- (オ) 新浜リサイクルセンター資源選別事業
新浜リサイクルセンターに集積された資源物の選別作業を行う。
- (カ) ビン資源化処理事業
新浜リサイクルセンターに集積されたビン・カレット等の資源化を行う。
- カ 対象補助金 千葉県資源回収事業育成補助金 52,680,009円
千葉県古紙・布類分別収集補助金 42,245,376円

(2) 千葉商工会議所

- ア 設立年月日 昭和21年12月24日
- イ 設立目的 地区内における商工業の総合的な改善発展を図るとともに社会一般の福祉の増進に資することを目的とする。
- ウ 所在地 千葉市中央区中央2丁目5番1号
- エ 代表者 会頭 千葉 滋胤
- オ 事業内容
- (ア) 意見活動
地域の商工業者の世論を代表する地域総合経済団体として、意見を公表し、行政庁等に対し、具申及び建議を行う。

(イ) 経営改善普及事業

市内（旧土気地区を除く）の商工業者、特に小規模企業者の経営や技術の改善、向上を促進するため、経営一般、金融、税務、労働、取引等の分野にわたって、経営指導員が窓口又は巡回により相談業務を行う。

(ウ) 中心市街地活性化事業

中心市街地の活性化を図るため、中央公園を中心としたイベントを支援するイベントコーディネート事業をはじめとして、情報ガイドマップの発行やオープンカフェの開設など街の賑わい創出や安心・安全なまちづくりに向けた各種事業を行う。

カ 対象補助金	小規模事業者指導事業補助金	9, 800, 000円
	中心市街地活性化事業補助金	7, 635, 090円

(3) 財団法人千葉市防災普及公社

ア 設立年月日 平成7年7月1日

イ 設立目的 都市化が進展する千葉市の都市形成に対応した防火管理体制の推進及び到来する高齢化社会における住宅防火と救急需要に備えた防火防災意識の高揚を図るとともに、地震及び救急事故等災害時における被害の軽減を助成し、もって市民生活の安全と公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

ウ 所在地 千葉市美浜区高洲4丁目1番16号

エ 代表者 理事長 須田 和宏

オ 事業内容

(ア) 防災意識の普及及び広報に関する事業

(イ) 応急手当の普及啓発に関する事業

(ウ) 防火管理体制等の教育指導講習に関する事業

(エ) 防災用品の普及促進に関する事業 等

カ 対象補助金 財団法人千葉市防災普及公社運営補助金

53, 940, 624円

2 出資団体

(1) 財団法人千葉市都市整備公社

ア 設立年月日 昭和39年10月10日

イ 設立目的 千葉市における産業基盤の確立と生活環境の整備を図り、もって千葉市の調和と均衡ある発展に寄与することを目的とする。

ウ 所在地 千葉市中央区中央2丁目5番1号

エ 代表者 理事長 三上 都紘

オ 基本財産 3億円（全額千葉市出捐金）

カ 事業内容

(ア) 施設整備事業

千葉市の債務負担行為に基づき、土木施設、教育施設、公共施設を整備した後、貸与期間を経て、市へ譲渡を行う事業を実施した。

a 施設建設事業

市から依頼を受けて施設を建設した。

(単位：千円)

区 分	18年度	19年度	20年度
土 木 施 設	1,606,574	1,145,658	1,422,054
教 育 施 設	1,000,498	840,332	290,648
公 共 施 設	1,209,224	898,820	748,569
合 計	3,816,296	2,884,810	2,461,271

b 施設貸与事業

平成10年度から平成20年度に市から依頼を受けて整備した施設(延べ928件)を譲渡するまでの間、市に貸与した。

c 施設譲渡事業

市から依頼を受けて整備し、貸与していた施設を市へ譲渡した。

区 分	件数(件)	譲渡金額(千円)
土 木 施 設	10	2,536,853
教 育 施 設	25	2,150,073
公 共 施 設	3	789,759
合 計	38	5,476,685

(イ) 駐車場事業

平成20年度より財団法人千葉市駐車場公社の事業を引き継ぎ、市内の駅周辺地域における違法駐車解消を図るとともに、市民生活の利便性向上を目的として、駐車場事業を実施した。

- a 時間制駐車場：要町駐車場ほか2か所
 収容台数 386 台
 利用台数 290,207 台
- b 月極制駐車場：鵜の森駐車場ほか34か所
 収容台数 2,650 台
 契約台数 27,466 台

(ウ) 土地管理受託事業

平成20年度より千葉市土地開発公社から委託を受け、同公社の保有土地
 (管理面積 46,498.27 m²) の管理業務を実施した。

キ 財務諸表

(ア) 財政状態

貸 借 対 照 表

(単位：円)

科 目	20年度	19年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産	43,919,999,398	47,271,812,105	△3,351,812,707
2 固定資産			
(1) 基本財産	300,000,000	300,000,000	0
(2) 特定資産	125,982,608	103,762,213	22,220,395
(3) その他固定資産	87,042,135	67,710,905	19,331,230
固定資産合計	513,024,743	471,473,118	41,551,625
資産合計	44,433,024,141	47,743,285,223	△3,310,261,082
II 負債の部			
1 流動負債	5,553,857,763	7,035,541,126	△1,481,683,363
2 固定負債	37,761,799,966	39,627,063,557	△1,865,263,591
負債合計	43,315,657,729	46,662,604,683	△3,346,946,954
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	300,000,000	300,000,000	0
2 一般正味財産	817,366,412	780,680,540	36,685,872
正味財産合計	1,117,366,412	1,080,680,540	36,685,872
負債及び正味財産合計	44,433,024,141	47,743,285,223	△3,310,261,082

資産の主なものは、

流動資産では、施設整備資産 428 億 9,064 万円である。

固定資産では、基本財産 3 億円である。

負債の主なものは、

流動負債では、一年内返済の長期借入金 52 億 7,497 万円である。

固定負債では、長期借入金 376 億 1,271 万円である。

正味財産は、11 億 1,736 万円で、当期正味財産増加額は、3,668 万円である。

(イ) 経営成績

正 味 財 産 増 減 計 算 書

(単位：円)

科 目	20年度	19年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益	4,038,193,208	3,762,115,598	276,077,610
(2) 経常費用	3,994,773,346	3,695,161,737	299,611,609
当期経常増減額	43,419,862	66,953,861	△23,533,999
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	10,562,202	11,293,888	△731,686
(2) 経常外費用	17,296,192	11,166,813	6,129,379
当期経常外増減額	△6,733,990	127,075	△6,861,065
当期一般正味財産増減額	36,685,872	67,080,936	△30,395,064
一般正味財産期首残高	780,680,540	713,599,604	67,080,936
一般正味財産期末残高	817,366,412	780,680,540	36,685,872
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	300,000,000	300,000,000	0
指定正味財産期末残高	300,000,000	300,000,000	0
III 正味財産期末残高	1,117,366,412	1,080,680,540	36,685,872

一般正味財産増減の部の主なものは、

経常収益では、施設整備事業収益の施設建設完成高 26 億 6,039 万円である。

経常費用では、施設整備費の施設建設完成原価 23 億 1,902 万円である。

経常外収益では、諸収益の受取損害賠償金 987 万円である。

経常外費用では、施設整備資産調整額 1,398 万円である。

正味財産期末残高は、11 億 1,736 万円で、当期正味財産増加額は、3,668 万円である。

(2) 財団法人千葉市防災普及公社

- ア 設立年月日 平成7年7月1日
- イ 設立目的 都市化が進展する千葉市の都市形成に対応した防火管理体制の推進及び到来する高齢化社会における住宅防火と救急需要に備えた防火防災意識の高揚を図るとともに、地震及び救急事故等災害時における被害の軽減を助成し、もって市民生活の安全と公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。
- ウ 所在地 千葉市美浜区高洲4丁目1番16号
- エ 代表者 理事長 須田 和宏
- オ 基本財産 2億円（全額千葉市出捐金）
- カ 事業内容

(ア) 防災意識の普及及び広報に関する事業

防火・防災意識の啓蒙に努めるため、防火防災ポスター・防災啓蒙物品を作成し配布した。また、防災普及車を使用した地震体験及び煙体験を実施した。

区 分	18年度	19年度	20年度
啓蒙物品の作成数（個）	59,400	81,000	77,000
防災普及車による地震体験者数（人）	14,239	13,757	14,575

(イ) 応急手当の普及啓発に関する事業

より多くの市民が応急処置を行えるよう、心肺蘇生法やAEDの取扱要領、止血法などの救命講習を実施した。

区 分	18年度	19年度	20年度
普通救命講習修了者数（人）	3,194	3,192	3,571
上級救命講習修了者数（人）	438	471	586

(ウ) 防火管理体制等の教育指導講習に関する事業

防災センターに従事する者を対象に防災センター要員講習を実施したほか、各種教育指導講習を実施した。

区 分	18年度	19年度	20年度
防災センター要員講習修了者数（人）	680	728	748

(エ) 防災用品の普及促進に関する事業

住宅防火推進及び防災意識の高揚を図るため各種防災用品等の普及促進に努めた。

(単位：個)

区 分		1 8 年 度	1 9 年 度	2 0 年 度
販 売 数	住宅用消火器	408	370	470
	住宅用火災警報器	1,262	1,568	1,011
	応急手当処置用品	318	581	1,069
	防災物品	446	877	1,074

キ 財務諸表

(ア) 財政状態

貸 借 対 照 表

(単位：円)

科 目	2 0 年 度	1 9 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産	60,220,755	50,450,828	9,769,927
2 固定資産			
(1) 基本財産	200,000,000	200,000,000	0
(2) 特定資産	24,392,390	22,282,750	2,109,640
固定資産合計	224,392,390	222,282,750	2,109,640
資産合計	284,613,145	272,733,578	11,879,567
II 負債の部			
1 流動負債	22,996,950	16,075,578	6,921,372
2 固定負債	24,392,390	22,282,750	2,109,640
負債合計	47,389,340	38,358,328	9,031,012
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	200,000,000	200,000,000	0
2 一般正味財産	37,223,805	34,375,250	2,848,555
正味財産合計	237,223,805	234,375,250	2,848,555
負債及び正味財産合計	284,613,145	272,733,578	11,879,567

資産の主なものは、

流動資産では、現金預金 5,604 万円である。

固定資産では、基本財産 2 億円である。

負債の主なものは、

流動負債では、受託事業収入の精算に伴う返還金等の未払金 2,170 万円である。

固定負債は、退職給付引当金 2,439 万円である。

正味財産は、2 億 3,722 万円で、当期の正味財産増加額は、284 万円である。

(イ) 経営成績

正 味 財 産 増 減 計 算 書

(単位：円)

科 目	2 0 年 度	1 9 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益	175,476,588	186,626,294	△11,149,706
(2) 経常費用	172,628,033	184,033,552	△11,405,519
当期経常増減額	2,848,555	2,592,742	255,813
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,848,555	2,592,742	255,813
一般正味財産期首残高	34,375,250	31,782,508	2,592,742
一般正味財産期末残高	37,223,805	34,375,250	2,848,555
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0
III 正味財産期末残高	237,223,805	234,375,250	2,848,555

一般正味財産増減の部の主なものは、

経常収益では、事業収益の受取受託事業収益 7,059 万円及び受取補助金等の受取地方公共団体補助金 5,394 万円である。

経常費用では、事業費の受託職員費 5,847 万円、自主職員費 2,218 万円である。

正味財産期末残高は、2 億 3,722 万円で、当期の正味財産増加額は、284 万円である。

3 公の施設の指定管理者

(1) 株式会社千葉ロッテマリーンズ

- ア 所在地 東京都新宿区百人町2丁目2番33号
- イ 代表者 代表取締役 重光 武雄
- ウ 指定期間 平成18年4月1日～平成23年3月31日
- エ 委託料 なし（利用料金収入等に対応）
- オ 管理業務内容

(ア) 施設管理業務

施設貸出業務、広報業務 等

区 分	18年度	19年度	20年度
利用人数(人)	61,078	52,056	60,638

(イ) 維持管理業務

建築物保守管理業務、清掃業務、設備機器管理業務、修繕業務 等

カ 施設概要

(ア) 千葉マリンスタジアム

区 分	概 要
所在地	千葉市美浜区美浜1番地
開設年月日	平成2年4月1日
使用時間	午前9時～午後9時
敷地面積	35,300㎡
建築面積	14,938.38㎡
本体延床面積	46,670.75㎡
本体構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、地上5階建
グラウンド面積	15,018.45㎡
グラウンド構造	透水性人工芝
収容人数	約30,000人

(2) 株式会社京葉美装

- ア 所在地 千葉市中央区椿森2丁目5番8号
イ 代表者 代表取締役 国吉 晃甲
ウ 指定期間 平成18年4月1日～平成23年3月31日
エ 委託料 19,392,000円
オ 管理業務内容

(ア) 施設運営業務

施設使用許可、利用料金徴収 等

区 分	18年度	19年度	20年度
利用人数(人)	140,338	142,765	147,314

(イ) 維持管理業務

施設保守点検、修繕、清掃、警備業務 等

カ 施設概要

(ア) 千葉市稲毛区穴川コミュニティセンター

区 分	概 要
所在地	千葉市稲毛区穴川4丁目12番3号
開設年月日	平成4年4月1日
開館時間	午前9時～午後9時
敷地面積	2,100.01㎡
延床面積	2,649.50㎡
施設構造	鉄筋コンクリート造、地上3階建
主要施設	1階 多目的室、大広間、音楽室、講習室、集会室 等 2階 体育館、創作室、料理実習室 3階 サークル室、和室、会議室

(3) 長沼CC支援グループ

- ア 団体構成 東京都渋谷区代々木2丁目18番3号
株式会社オーチャー
代表取締役 片野 忠彦
- 東京都渋谷区代々木2丁目18番3号
Fun Space株式会社
代表取締役社長 鈴木 茂
- 千葉市緑区大椎町1188番地129
特定非営利活動法人千葉まちづくりサポートセンター
代表 福川 裕一

イ 指定期間 平成18年4月1日～平成23年3月31日

ウ 委託料 52,517,345円

エ 管理業務内容

(ア) 施設運營業務

施設使用許可、利用料金徴収 等

区 分	18年度	19年度	20年度
利用人数(人)	53,881	72,539	78,641

(イ) 維持管理業務

施設保守点検、修繕、清掃、警備業務 等

オ 施設概要

(ア) 千葉市稲毛区長沼コミュニティセンター

区 分	概 要
所在地	千葉市稲毛区長沼町461番地8
開設年月日	平成18年4月1日
開館時間	午前9時～午後9時
敷地面積	4,524.43m ²
延床面積	2,653.55m ²
施設構造	鉄筋コンクリート造、地上3階建
主要施設	1階 多目的室、体育館、料理実習室、幼児室 2階 講習室、創作室、和室、集会室 3階 サークル室、会議室、音楽室、大広間